

Acoustic Design シリーズ

クイックスタートガイド

QSC®

AD-C.SUB

AD-C.SAT

記号の説明

用語「警告!」は、作業者の安全に関する指示です。これらの指示に従わないと、怪我をしたり、死に至る可能性があります。

用語「注意!」は、物理的な機器への損傷の可能性に関する指示です。これらの指示に従わないと、保証の対象とならない機器への損傷が生じる可能性があります。

用語「重要!」は、手順を遂行するための重要な指示または情報です。

用語「注記」は、役に立つ追加情報を示すのに使われます。



三角形の中の矢印記号が付いた稲妻マークは、人が感電するリスクとなるような大きさの絶縁されていない「危険な」電圧が製品内部に存在することをユーザーに対して注意喚起する目的があります。



三角形の中の感嘆符は、マニュアル内において安全性および操作と保守整備に関する重要な指示があることをユーザーに対して注意喚起する目的があります。



安全性に関する重要な指示



1. これらの指示を読んでください。
2. これらの指示書を保管してください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 乾いた布のみを使って清掃してください。
6. 熱を発生するラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の器具（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
7. メーカー指定の付属品／アクセサリのみを使用してください。
8. すべての整備は、資格を持つ整備士に依頼してください。電源コードまたはプラグが損傷を受けた時、器具に液体がかかったり、器具の上に物が落ちた場合、器具が雨や湿気にさらされた場合、正常に作動しない、または器具が落下したなど、いかなる形であれ器具が損傷を受けた場合には、整備が必要となります。
9. 器具を水または液体の近くで使用しないでください。
10. 器具に対して、またはその付近で、あるいはその中に向けてエアゾルスプレー、クリーナー、殺菌剤または燻蒸剤を使用しないでください。
11. 現地のすべての適用基準に従ってください。
12. 物理的な機器の設置に関して懸念や疑問が生じた場合は、認可を受けた専門技術者に相談してください。

保守整備と修理

最新の材料や強力な電子機器を使用するなどの先進技術は、特定の保守整備と修理方法が必要となります。器具に対する損傷、人的被害、安全上の危険がさらに発生するといった危険を避けるために、器具に対して行うすべての保守整備と修理作業は、QSC認定サービスステーションまたはQSC認定国際代理店のみが行なわなければなりません。それらの修理を円滑に行うことを顧客、器具のオーナーまたはユーザーが怠ることにより生じるいかなる怪我、損害または関係する損傷に対してもQSCは責任を負いません。

保証

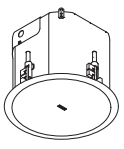

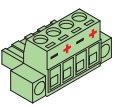


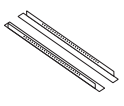
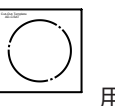
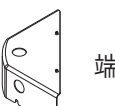


QSC限定保証の内容については、QCSのウェブサイトwww.qsc.comにアクセスしてください。

TD-001556-08-A1



AD-C.SUB サブウーファーの取り付け

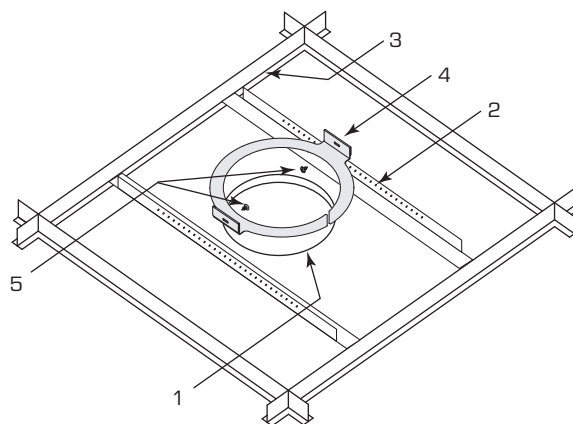
AD-C.SUBの内容物

 (1x) AD-C. SUB	 (1x) グリル	 (3x) ユーロス タイル プラグ (4極)	 (1x) Cリング	 (2x) タイル レール 用ねじ (板金)
 (2x) タイル レール	 (1x) 切り抜き 用テンプレ ート	 (1x) 端子カバー	 (1x) 保証書 TD-000453	 (1x) クイックス タートガイ ド TD-001556

天井の準備

図1を参照してください。

1. 付属の切り抜き用テンプレートを使って、ラウドスピーカーを設置する天井に直径12インチ (305mm) の穴を開けます (1)。フレーム構造の天井の場合は、「スピーカの配線」までスキップしてください。
2. 2本のVレール (2) を穴の両側に1本ずつ取り付け、吊り天井用サポートレール (3) で支持します。
3. Vレールを支えに、Cリング (4) を穴に取り付けます。CリングのクリップがVレールに正しく装着されていることを確認してください。
4. 板金ねじ (5) を使って、CリングをVレールに固定します。



— 図 1 —

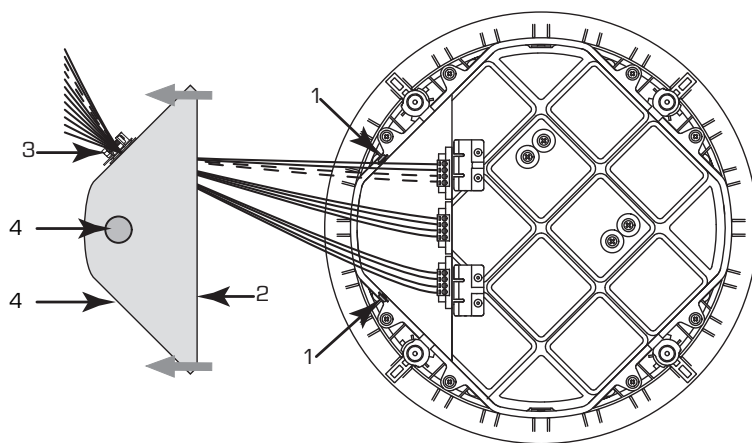
サブウーファーの配線

図2を参照してください。

1. 配線端子カバー (2) をラウドスピーカー筐体本体に固定しているねじ (1) 2本を緩めます。
2. カバー (2) を手前に少し引き上げ、筐体から引き離します。
3. ワイヤーを電線管／応力緩和クランプ (3) に通します。接続のために十分なワイヤーを残してください。クランプ (3) をワイヤーに、または電線管を使用している場合は電線管に、注意深く締め付けます。

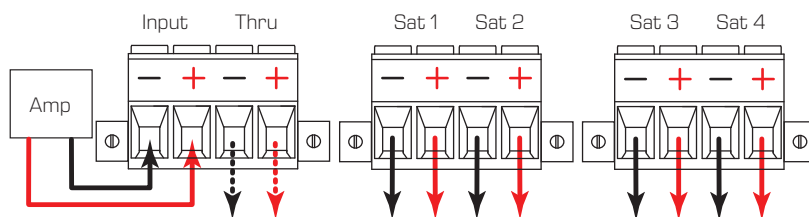


注記: 配線端子カバーには、2つの付加的な開口部 (4) があります。これは、工場出荷時に選択した開口部では配線と構造物が干渉してしまう場合に使用することができます。



— 図 2 —

4. ユーロスタイルのメス型プラグを配線します。(図3)。
5. ユーロスタイルのプラグは工場出荷時に装着されています。コネクタを取り外した場合は、必ずねじを締め直して接続を固定してください。
6. カバー (2) をコネクタの上にスライドさせて2つのクリップの下に入れ、2つのプラスねじを締め付けます。



— 図 3 —

サブウーファーを設置する

図5を参照してください。

1. 小さなマイナスドライバーなどを使って、グリルをラウドスピーカーハウジングから慎重にこじ開け、ドッグイヤーのねじにアクセスできるようにします。グリルはマグネットで固定されています。
2. 4つのドッグイヤーがすべて、内側に向いていて、金属製のラウドスピーカーハウジングの側面に向いていることを確認してください。図5(1)は内側に向いている状態、(2)は内側に向いていないドッグイヤーを示しています。



注記:ドッグイヤーは2か所のみで内側に向けることができます。1つは2インチ厚の天井材まで、もう1つは1.25インチ厚の天井材まで対応します。図4を参照してください。設置場所に応じて最適なものをご使用ください。

3. ラウドスピーカーハウジングをスライドさせ、穴から天井に挿入します。配線を挟み込んだり、何かに引っ掛けたりしないように注意してください。
4. プラスドライバーを使って、ドッグイヤーのねじ4本すべてを締め付けます。ねじを締めると、ドッグイヤーはハウジングから離れ、天井材の上を移動します。ドッグイヤーを完全に締め付ける前に、すべてのドッグイヤーが天井材に適切に配置されていることを確認してください。



注意!ドッグイヤー用ねじを締め過ぎないでください。

地震時の安全性



警告!耐震性については、必ず現地の建築基準法を確認し、遵守してください。疑問がある場合は、適切な技術者に相談してください。現地の建築基準法にかかわらず、QSCでは設置に適した安全固定具を使用することを推奨しています。

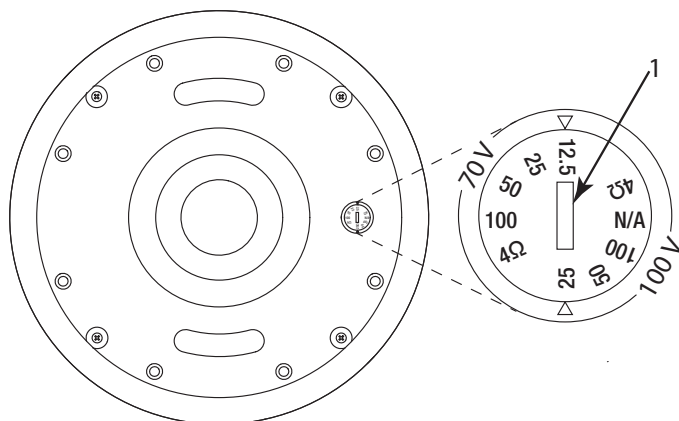
図6を参照してください。

1. 適切な安全テザー(1)をテザータブ(2)、ラウドスピーカー格納の背面、および建物の構造の適切な部分に取り付けてください。

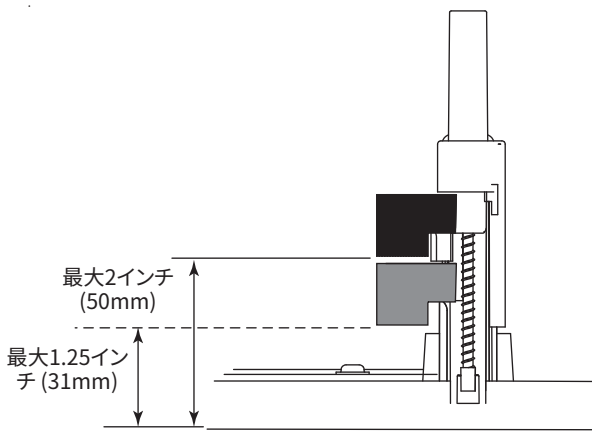
操作モードを設定する

図7を参照してください。

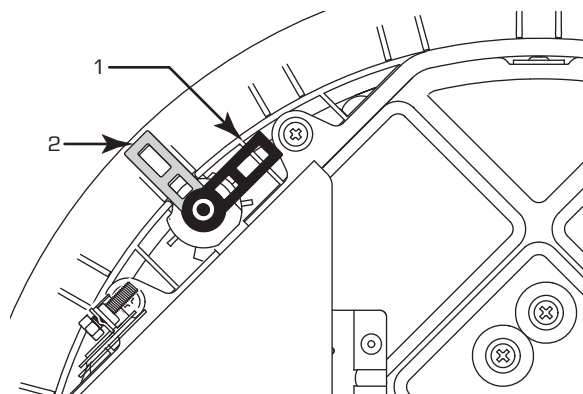
1. トランスのタップ(1)は、小さなコインなどを使って、設置場所の条件に合わせて設定します。
2. ラウドスピーカーグリル/テザーを取り付けます。



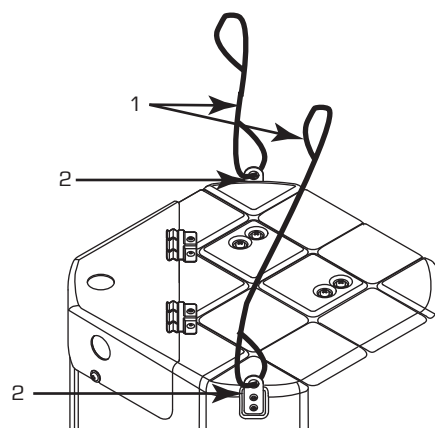
— 図 7 —



— 図 4 —



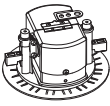







— 図 5 —



— 図 6 —

AD-C.SATの取り付け

AD-C.SATの内容物

 (2x) AD-C.SAT	 (2x) グリル	 (2x) ユーロスタ イルプラグ (2極)	 (2x) Cリング
 (2x) 切り抜き用 テンプレート	 (2x) 端子カバー	 (1x) 保証書 TD-000453	 (1x) クイックスタ ートガイド TD-001556

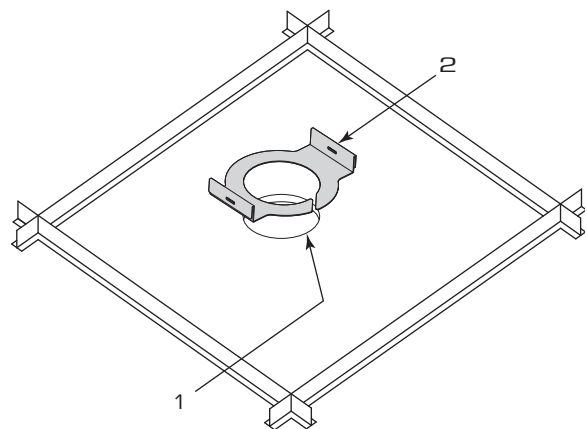
天井の準備

図8を参照してください。

1. 付属の切り抜き用テンプレートを使って、ラウドスピーカーを設置する天井に直径4.4インチ (112mm) の穴を開けます (1)。
2. Cリング (2) を穴に取り付けます。



重要! オプションのステップのパーツは別途購入となります。現地の建築基準法を必ずご確認ください。

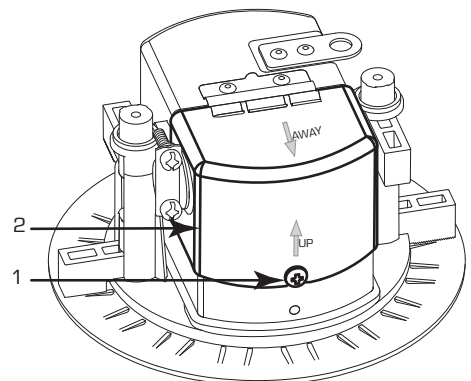


— 図 8 —

ラウドスピーカーを配線する

図9を参照してください。

1. 端子カバー (2) をラウドスピーカー筐体本体に固定しているねじ (1) を緩めます。
2. 端子カバー (2) を手前に少し引き上げ、筐体から引き離します。



— 図 9 —

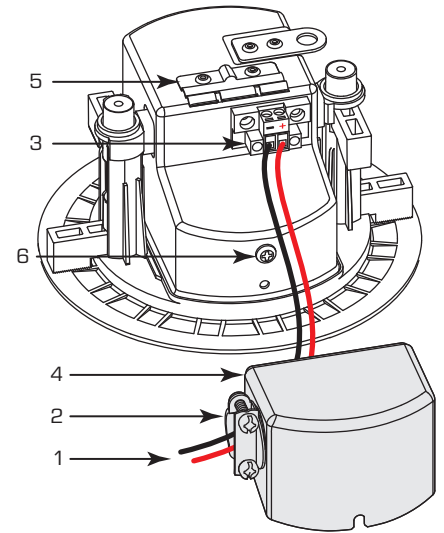
図10と図11を参照してください

3. ワイヤー(1)を電線管/応力緩和クランプ(2)に通します。
4. ワイヤー(1)をユーロスタイルのメス型プラグ(3)に接続します(図10と図11)。極性を必ず守ってください。
5. 接続のために十分なワイヤーを残してください。クランプ(2)をワイヤー(1)に、または電線管を使用している場合は電線管に、注意深く締め付けます。

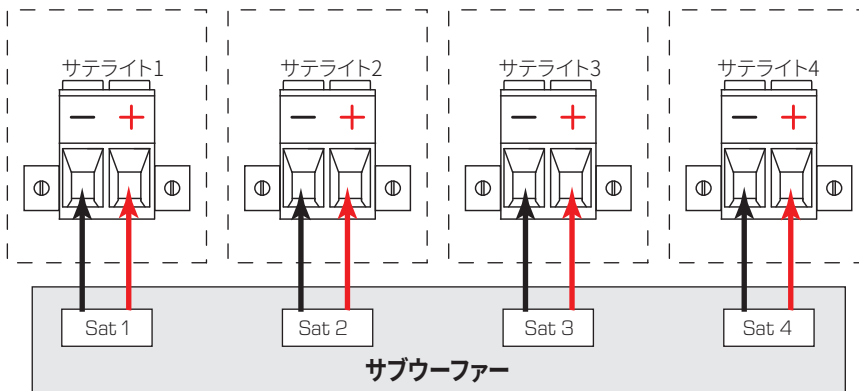


注記:ユーロスタイルのプラグは工場出荷時に装着されています。コネクタを取り外した場合は、必ずねじを締め直して接続を固定してください。

6. カバー(4)をコネクタの上にスライドさせてクリップ(5)の下に入れ、プラスねじ(6)を締め付けます。



— 図 10 —



— 図 11 —

ラウドスピーカ-の取り付け

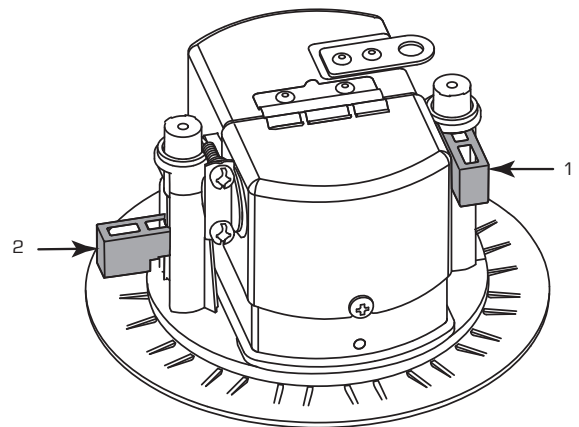
1. 小さなマイナスドライバー(または同様のもの)を使って、グリルの片方の縁をこじ開けます。グリルを取り外します。



ヒント:サテライトグリルは、3つのマグネットで固定されています。2つのマグネットの間でグリルの縁を押さえると、グリルの反対側が飛び出します。グリルの縁を移動しながらマグネットの間の場所を見つける必要があるかもしれません。

図12を参照してください。

2. 両方のドッグイヤーが内側に向いていて、ラウドスピーカ-ハウジングの側面に向いていることを確認してください。図12(1)は内側に向いている状態、(2)は内側に向いていないドッグイヤーを示しています。プラスドライバーを使って、ドッグイヤーが内側に向く位置に調整します。プラスねじはグリルの下、ドッグイヤーと並んだ位置にあります。



— 図 12 —



注記:ドッグイヤーは、可動域の上部にあるときのみ回すことができます。

3. ラウドスピーカ-ハウジングをスライドさせ、穴から天井に挿入します。配線を挟み込んだり、何かに引っ掛けたりしないように注意してください。
4. プラスドライバーを使って、両方のドッグイヤー用ねじを締め付けます。ねじを締めると、ドッグイヤーはハウジングから離れ、天井材の上を移動します。ドッグイヤーを完全に締め付ける前に、ドッグイヤーが天井材に適切に配置されていることを確認してください。



注意!ドッグイヤー用ねじを締め過ぎないでください。



郵送先住所:

QSC, LLC

1675 MacArthur Boulevard

Costa Mesa, CA 92626-1468 USA

代表電話番号: +1.714.754.6175

販売・マーケティング部門

電話番号: +1.714.957.7100

無料通話 (米国のみ) 1.800.854.4079

ファックス: +1.714.754.6174

カスタマーサービス

電話番号: +1.714.957.7150

無料通話 (米国のみ) 1.800.772.2834

ファックス: +1.714.754.6173

Eメール: service@qsc.com

tech_support@qsc.com

Webサイト:

www.qsc.com

© 2018 QSC, LLC. 無断複写、複製、転載を禁じます。QSCおよびQSCロゴは米国特許商標局および他の国で登録されたQSC, LLC.の登録商標です。その他の登録商標は全てそれぞれの所有者の財産です。

<http://patents.qsc.com>